

# アメリカのメディアとプロスポーツ

---

---

- 1860 スポーツにおける記録の重要性
  - 1873 大学の陸上競技に新聞社がカップとメダルを与える（ニューヨーク・ヘラルド紙）
  - 1876 プロ野球のナショナル・リーグ発足。8チーム
  - 1900 プロ野球のアメリカンリーグ発足
- 
- 1903 最初のワールド・シリーズが行われた。
  - 1917 ナショナル・ホッケー・リーグ（NHL）9チーム
  - 1919 アメリカン・プロフェッショナル・フットボール連盟（APFA）が設立された。
  - 1921 ジョージ・カーペンティア対ジャック・デンプシーの世界戦がラジオ中継
  - 1923 ルイス・フィルポ対ジェス・ウィラードのヘビー級の試合を200万人がラジオで聴く
  - 1926 ワールドシリーズ、ラジオ中継 NHLが2地区10チームになる
  - 1927 ニューヨークの十代の少年のためのボクシング・トーナメント（デイリー・メール紙）  
ジャック・デンプシー対ジェネ・トニーの試合を500万人がラジオで聴く
  - 1928 全国トーナメント（トリビューン紙）
  - 1932 メジャー・リーグのレギュラー・シーズンの中継禁止
  - 1933 オールスター野球ゲーム（シカゴ・トリビューン紙）オレンジ・ボール
  - 1934 大学オールスターフットボール（シカゴ・トリビューン紙）  
フォード自動車ワールドシリーズを三大ネットから独占中継、スポンサー料10万ドル
  - 1935 オレンジ・ボール ベーブ・ルース引退、109万1477ドル稼いで球界初の百万長者になった
  - 1936 サン・ボール
  - 1937 コットン・ボール
  - 1938 ジョー・ルイス対マックス・シメリングの試合をアメリカ人の三分の二が聞いた
  - 1939 テレビ初のスポーツ中継、コロンビア大学での野球の試合  
ジレットがワールドシリーズのレギュラー・スポンサーになる。32年間つづく。  
ドジャースがゲームの放送権を7万ドルで許可。ジャイアンツ、ヤンキースもロードに限り認める。  
MLBの総支出が1200万ドル、そのうち選手への報酬は360万ドルで総収入の32%。
  - 1940 ドジャースが週1回のホームゲーム・テレビ中継を認める
- 
- 1946 ヤンキースが1シーズンのテレビ放映権料を75000ドルで売る。テレビの台数は全米で7000台  
スタン・ミュージアルの年俸14000ドル。平均は3500ドル程度
  - 1947 ドジャースに初の黒人選手ジャッキー・ロビンソン入団。観客数新記録180万人
  - 1949 マイナー・リーグの入場者数が4200万人、チーム数は51  
ナショナル・バスケットボール連盟（NBA）が発足
  - 1950 メジャーリーグの放送権料が平均で20万ドル  
セントルイス・カージナルスの地域ネットワークが9州、120局  
テレビを持つアメリカ人は400万人 ワールド・シリーズ（1951-56）の放映権料600万ドル  
NFLのラムズが全試合をテレビ中継。観客は半減
  - 1951 ボストン・ブレーブスが4年間（51-54）の放映権を4万ドルで売る。52年の観客は前年の80%減  
ラムズが中継を禁止、観客数は倍増

- NFLのチャンピオンシップ・ゲームをデュモン・ネットが中継（55年まで、中継料は95000ドル）
- 1953 ブレーブスがミルウォーキーに移動
- 1952 ボクシングの視聴率が30%以上
- 1954 『スポーツ・イラストレイティド』創刊  
マイナー・リーグの数が36に減少
- 1956 アメリカの75%以上の家庭にテレビが普及 ワールドシリーズの放映権料（57-62）1500万ドル  
NBCがNFLのタイトル・ゲームをデュモン・ネットから買い取る。  
CBSがレギュラー・シーズンの中継、  
契約料は年間で100万ドル 1948年から56年の間にメジャー・リーグの観客は3分の1に減少した。
- 1958 メジャーリーグの試合がテレビで800試合中継される  
ドジャースがロサンゼルス、ジャイアンツがサンフランシスコに移動
- 1960 NBCがローズ・ボールに50万ドル払う
- 1961 NFLのテレビ中継が50%の視聴率を超えるようになる。  
放映権の争奪戦と高騰。1000万ドルを超える
- 1962 CBSがカレッジ・フットボールの放映権を300万ドルから510万ドルにあげる  
ドジャースの新球場が完成、駐車場24000台
- 1964 NFL所属チームはテレビ放映権として1チーム100万ドル以上を得る  
CBSがニューヨーク・ヤンキースを買収  
ヘビー級世界チャンピオンカシアス・クレイがモハメド・アリに改名。さらにベトナム戦争に反対  
CBSはNFLの放映権として1,400万ドルを払った。  
NBAのテレビ中継が始まる。ABCとの契約金は65万ドル
- 1965 ヒューストンに屋根つき球場アストロドーム登場
- 1966 ブレーブスがアトランタに移動、南部という新市場、高額な放映権料150万ドル  
AFLとNFLの合併NBAに初の黒人コーチ  
ドジャースのドライスデール投手。3年間で100万ドルの契約。代理人交渉
- 
- 1967 第1回スーパーボール
- 1968 グルノーブル（冬季）、メキシコ（夏季）のオリンピック放映権をABCが獲得。800万ドル  
NBAの放送（ABC）が27.1%の視聴率。NFLは43%  
メジャー・リーグが打撃を優先させるルール改正
- 1970 NBAはテレビ放映権として100万ドル受け取った。
- 1972 NFLがルール改正 NBCがテニスのWCTの放映権を17万5000ドルで買い取る
- 1973 アメリカン・リーグが指名打者制を採用
- 1973 CBSがヤンキースをジョージ・スタインブレナーに売却
- 1974 メジャー・リーグのチームにマスコット登場。NFLにはチアガール  
CBSがABCからNBAの放映権を買い取る。一チームあたり53万5000ドル  
NFLが再度のルール改正
- 1975 メジャー・リーグに初の黒人監督。フランク・ロビンソン（インディアンズ）
- 1976 メジャーリーグがフリー・エージェント制とドラフト制度を採用  
オリンピックで公認グッズ登場
- 1977 NFLが三大ネットと4年間で6億5600万ドルの契約を結ぶ（1964年の6倍）入場料収入を上回る  
NCAAがABCと4年間で12,000万ドルの契約
- 1978 ヤンキースの放映権料による収入は130万ドル。カンサスシティ・ロイヤルズは35万ドル。  
ピート・ローズがフリー・エージェントで220万ドルでフィリーズに移籍。  
NFLが三度目のルール改正
- 1979 ESPN設立。全家庭の20%が契約

- 1980 モスクワ・オリンピックの放映権料 8500 万ドル (NBC)
- 1981 NCAA はテレビ放映権料として 7430 万ドル得る (2年で倍増)  
CBS の収益金 3 億ドルのうち 2500 万ドルはフットボールから NBA の視聴率下降。18%
- 1982 三大ネットと NFL の契約は 28 チームがそれぞれ 580 万ドルから 1420 万ドル受け取るというもの。  
5 年間で 20 億ドル ABC は新組織の USFL と 2200 万ドルで契約  
シカゴにペイ・テレビ、ホワイト・ソックスは年間 2700 万ドルの収入 NBA がルール改正
- 1983 ローズ・ボールの放映権料が 700 万ドル 三大ネットがメジャーリーグに 10 億ドルの放映権料。  
その他 1 億ドル。NBC がフットボール中継によって得た収益金は 5000 万ドル
- 1984 ロス五輪の放映権料 2 億 2500 万ドル。サラエボは 9150 万ドル  
NFL のスティーブ・ヤングが 43 年間で 4000 万ドルという契約を結ぶ
- 1985 NFL の各チームは 6,500 万ドルを得た。
- 1986 NBA の放映権料 4,000 万ドル ウィンブルドンが完全オープン化  
NFL が放映権を 3 年間で 14 億ドルの契約
- 1988 カルガリ五輪の放映権料 3 億 900 万ドル、ソウルは 7 億 5000 万ドル  
メジャー・リーガーの平均報酬は 42 万ドル。100 万ドル以上が 50 人を超える。NFL は 23 万ドル
- 1990 BBC はウィンブルドンの 3 年契約を獲得した。受結額は 900 万ポンド。  
それまでの契約は 5 年間で 500 万ポンドだった。ESPN への加入者が全米の家庭の半数に達する。